

1. はじめに

久米5町の特徴（四十九町・陽光台・木興町・久米町・守田町）

久米住民自治協議会を構成する5町は伊賀市の市街地の南西部に隣接する地域です。

久米山古墳群や中世城館跡が数多く残り、能楽の祖、観阿弥生誕の地とも伝えられ古来、伊賀の歴史を語る史跡の多い地域です。

現在は、名阪国道や伊賀鉄道など主要交通網が地域内を縦横に通り、県民局、警察署、上野総合市民病院などの公共施設に加え新、市庁舎の移転も予定されています。

産業の面では、商業団地や大型店舗を始め商業活動も盛んであり、各種製造業の工場が多く見られます。地域の南部、西部は木津川流域であり、伊賀米を生産する農地が広がっています。

住環境は、旧市街に繋がる住宅地域、農村型の集落、陽光台を始めとする分譲住宅団地や全域に散在する集合住宅（マンション）群など多様な構成です。

このため住民自治協議会は、多様な生活形態の住民の要望に応え連帯意識を醸成し、住みよい地域づくりに繋がる活動が期待されています。

平成28年4月

久米住民自治協議会

2 久米住民自治協議会のあゆみ

平成12年4月に「地方分権一括法」が施行され、以前のような中央集権型ではなく、地方がその地域にあった、独自の自治を行っていくことが求められるようになりました。

平成16年11月に近隣6市町村が合併し、「伊賀市」が誕生しました。これに伴い、「伊賀市自治基本条例」が策定され、この基本条例は、まちづくりの基本方針や、それを実現するために、自治の仕組みを条例として定めるもので、自治体の最高規範として位置づけられています。

久米においても、平成24年1月14日に久米住民自治協議会を設立し住みよい「久米」をめざして「安全・防災部会」「福祉・体育部会」「環境・産業部会」「文化・教育部会」の4部会を立ち上げ、各部会それぞれに活動していましたが、少子高齢者社会また子供の育成・子育て・地域活動への女性参画促進など時代背景を見据えこの度、部会を新しく「安全・防災部会」「スポーツ部会」「環境・産業部会」「文化・教育部会」「福祉健康部会」の5部会と組織を改め、地域の課題である地域福祉、地域の安全と安心、人権まちづくり、多文化共生コミュニティビジネス等あらゆるジャンルに部会や実行委員会を設置し、それぞれ部会においては、担当分野でのまちづくり計画を検討、具体的に事例別に住民や地域ができること、市と協働で進めたいこと、市の計画に反映して欲しいことに分けて整理し、地域づくりに取り組んでいかなければならないと「久米まちづくり計画」を見直しました。

この「久米まちづくり計画」を実現するため、地域のみなさまには、まちづくりへの協力をお願い申し上げます。

平成28年4月

久米住民自治協議会

1 安全・防災部会

現 状

- ・犯罪から子供たちを守るため、防犯パトロールをまちづくり計画の一つとしているが、近年の犯罪の現状から更なる子供の見守り活動の強化と警察・消防その他関係機関との情報提供と共有化が必要である。
- ・地域防犯のためには、夜間における地域を明るくする事が必要である。このため防犯灯、街路灯の整備強化を図る必要がある。
- ・地域の主要道路の交通量が日増しに増加している。これらの状況下、交通弱者である老人や子供を交通事故から守るため、関係機関と更なる連携を図り、危険箇所の再点検、事故防止のための整備改善対策を推進する。
- ・懸念される東海・東南海・南海地震またその他大規模災害にそなえ、各自治会単位ではそれぞれに趣向を変えた訓練を実施しているが、地域自主防災組織が一丸となり防災マップの見直し避難場所における非常物品の確保、また広域にわたる連携の取れた大規模訓練が必要である。

課 題

- ・子供の見守り活動の強化と警察、消防、関係機関との連携
- ・交通安全対策の強化推進
- ・地域安全対策推進活動の強化
防犯灯・街路等（LED化）の推進・増設強化を図る
地域内に配備している消火器等の増設・点検・取替えの実施
- ・防火・防犯・防災における地域住民の意識の向上と協力

安全・防災部会

基本方針「みんなの声を反映した安心、安全なまちづくり」

短期：3年以内 中期：6年以内 長期：10年以内

項目	事業名	事業内容・実施主体			実施時期			備考
		地域（住民）	協働	行政	短期	中期	長期	
安全	地域安全推進活動	危険箇所の調査・改善		市と合同調査	○	○	○	
		交通安全指導の強化		警察に協力依頼	○	○	○	
		青色回転灯装備車の配備					○	
		消火器の増設・点検・取替え			○	○	○	
防犯	地域防犯推進活動	防犯パトロールの実施			○	○	○	
		子供の見守り			○	○	○	
		街路灯・防犯灯の整備強化			○	○	○	
		特殊詐欺による被害防止活動		警察に協力依頼	○	○	○	
防災	地域防災推進活動	非難場所の周知徹底と設営			○	○	○	
		災害時の連絡体制の統一強化			○	○	○	
		広域防災訓練の実施	市・消防		○	○	○	
		防災マップの作成	市・消防		○	○	○	
		救命講習会の実施	市・消防		○	○	○	
		自主防災組織の充実強化			○	○	○	
		安否確認ネットワークの整備	市担当		○	○	○	
		先進地の視察・研修			○	○	○	
		消防団との連携			○	○	○	

※ 市主催の訓練等に積極参加

2 スポーツ部会

現 状

- ・市等主催の各種スポーツ活動には積極的に参加しているが、参加者は限定される。
- ・少子高齢化，団塊の世代が高齢を迎えるなか、各種スポーツ行事への参加を呼びかけるとともにスポーツ活動による、「地域友愛」と「健康」を推進する。

課 題

- ・ライフステージに応じたスポーツ活動を推進する
少子高齢化の時代、心身の健康の保持、増進を図り、健康で活力に満ちた長寿社会を実現するため、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進する事が極めて重要である
- ・高齢者の体力づくりの支援
- ・地域住民が主体的に参加する地域スポーツの推進計画
- ・スポーツ大会を通じて親睦を図る
- ・誰もが気軽にスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現

スポーツ部会

基本方針「スポーツによる元気な地域を創るため」

短期：3年以内 中期：6年以内 長期：10年以内

項目	事業名	事業内容			実施時期			備考
		地域（住民）	協働	行政	短期	中期	長期	
体育	スポーツ大会の開催	グラウンド・ゴルフ			○	○	○	
		ゲート・ボール			○	○	○	
		ソフトバレーボール			○	○	○	
		カローリング			○	○	○	
		ボーリング大会			○	○	○	
		地区運動会の開催			○	○	○	
		小学校・保育所等との連携			○	○	○	
	各種スポーツの 推進事業	スポーツ愛好会の活動推進			○	○	○	
		青少年健全スポーツの推進			○	○	○	
		研修会・講演会の開催			○	○	○	
		スポーツイベントの実施			○	○	○	
		子供から高齢者まで参加できる スポーツの計画実施			○	○	○	
		スポーツ推進委員等への協力			○	○	○	
		各種ニュースポーツの開催			○	○	○	
	ニュースポーツの普及							

※ 市の事業（スポーツ等）へ協力していく
市民スポーツフェスティバル・伊賀上野シティマラソン等

3 環境・産業部会

現 状

- ・地域内を流れる久米川は汚染等により水質と美化を失ってはいたが、地域住民また地元の企業、事業所の協力のもと実施している久米川クリーンウォーキングなどの清掃作業により環境美化が取り戻しつつある。
また、地域内の幹線道路においては、毎年不法投棄防止のため年2回地域パトロールを、幹線道路の美化活動を年4回実施しており不法投棄も減少しつつあるが、名阪国道の沿線に不法投棄が目立ち、このため名阪国道管理者の協力のもと環境保全に尽くしている。
- ・一般廃棄物（ごみ）の収集は地域の集積場等において主に実施しているが資源ごみ等の分別が今も十分ではない。
- ・高齢化社会のなか、60歳以上の高齢者による小規模農業が多く、農家数は毎年減少しつつある。
このため、農家の担い手の育成が望まれる。

課 題

- ・ 環境保全意識の高揚と啓発
- ・ ごみ減量及び資源のリサイクルについて意識高揚を推進する
- ・ 久米川・往古川や幹線道路の美化活動を地域で推進する
- ・ 未来の農業を担う「人づくり・地域づくり」を創出する
- ・ 地域の地場産物品を創出し販売など推進する

環境・産業部会

基本方針「快適な環境で暮らせる活力あるまちづくり」

短期：3年以内 中期：6年以内 長期：10年以内

項目	事業名	事業内容・j実施主体			実施時期			備考	
		地域（住民）	協働	行政	短期	中期	長期		
環境	環境美化	地域内一斉ごみ拾い		伊賀市	○	○	○		
		花いっぱい運動	老人クラブ・近隣		○	○	○		
		幹線道路美化運動		伊賀市 他	○	○	○		
		空地の除草	地主への要請	伊賀市	○	○	○		
		久米川クリーンウォーキング	久米川対策協議会		○	○	○		
		往古川クリーンウォーキング	往古川をきれいにしよう会		○	○	○		
	ごみ減量・啓発	ごみリサイクル・分別・減量				○	○	○	
		生ごみの堆肥化				○	○	○	
		リサイクルセンター視察				○	○	○	
産業	地域産業の振興	地域企業・事業所との連携			○	○	○		
		地域企業・事業所との意見交換会と懇談			○	○	○		
	農業の振興	鳥獣被害対策				○	○	○	
		営農組織と農業担い手の確保				○	○	○	
		高齢農業者の生きがいづくり				○	○	○	
		先進地の視察・研修				○	○	○	

※ 市の事業への参画協力

4 文化・教育部会

現 状

- ・ 一人ひとりが人権についての認識を深め、様々な差別をなくし支え合う地域づくりが期待される。
- ・ 新興住宅地の開発による人口増加や全般的な生活形態の変化などのため、住民相互の繋がりや地域に対する愛着の希薄化が危惧される。
- ・ 住民相互や世代間の交流を密にして、時代を担う子どもたちを地域挙げて健全に育成していく事が望まれる。
- ・ 趣味を生かし、特技を伸ばすサークル活動を充実させ、生涯学習の場として、より幅広い参加が得られるように環境整備が必要である
- ・ “わがまち” “わがふるさと” のくらしや文化・伝承を学び、その将来を語り合う地域活動が期待される。

課 題

- ・ あらゆる差別を許さず互いの人権を尊重するまちづくり
- ・ 文化の違いを尊重し、多文化が共生するまちづくり
- ・ 女性がより一層活躍できる男女共同参画のまちづくり
- ・ 人権教育リーダーの育成
- ・ 生涯学習、地域文化活動の推進

文化・教育部会

基本方針「地域住民のこころ通える、だれもが輝いて生きていけるまちづくり」

短期：3年以内 中期：6年以内 長期：10年以内

項目	事業名	事業内容・実施主体			実施時期			備考	
		地域（住民）	協働	行政	短期	中期	長期		
教育	人権啓発の指針	人権講演会の実施	講師依頼・小学校共催		○	○	○		
		人権コンサートの実施	講師依頼・小学校共催		○	○	○		
		人権パネル展			○	○	○		
		先進地視察研修			○	○	○		
		男女共同参画事業の推進	講師依頼	情報の提供	○	○	○		
		人権啓発草の根運動推進会議		連絡会との協賛	○	○	○		
		多文化共生事業の推進			○	○	○		
		人権教育リーダーの育成			○	○	○		
	子育て支援・交流	世代間交流				○	○	○	
		こどもとのふれあい学習				○	○	○	
		こどもの居場所づくり			施設設備の充実	○	○	○	
		小学校との交流				○	○	○	
		体験学習の推進	講師依頼			○	○	○	
文化	生涯学習と地域文化活動の推進	文化サークル活動の推進			○	○	○		
		講座・講演・教室の開催			○	○	○		
		文化祭の実施			○	○	○		
		地域文化の伝承			○	○	○		

※ 市の行事には積極参加

5 健康・福祉部会

現 状

- ・ 2015（平成27年）いわゆる「団塊の世代」が65歳を迎え、高齢者率が急激に上昇した時代背景のなか、高齢者を取り巻く環境の大きな変化により、核家族化が進み単独世帯「一人暮らし世帯」が増加、高齢者は家庭にとじこもりがちとなり、地域自治にも大きく影響「地域社会の危機」を迎えつつある。
- ・ 介護保険制度により訪問介護やデイサービスなどの介護サービスを受けている人がふえている。
- ・ 核家族が増え、子供たちは高齢者とのつながりが少ない。
- ・ 地域として健康管理分野への取組みがない。

課 題

- ・ 地域の皆さんの健康づくりを支えるため、伊賀市健康推進員「健康の駅長」と連携し健康のまちづくりに努める
- ・ 健康づくりのための講演会やイベントの企画推進
- ・ 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと福祉の支えが十分なまちづくり。
- ・ 市また関係機関と連携し「地域包括ケアネットワーク会議」を立上げ、地域の課題に取り組む。
- ・ 家庭にひきこもりやすくなりつつある高齢者等に各種行事に参加をよびかけます。（高齢者の支援）
- ・ 人のつながりが子どもを育てる。（地域の子育て支援ネットワークの構築）

健康・福祉部会

基本方針「健康で福祉の充実したまちづくり」

短期：3年以内 中期：6年以内 長期：10年以内

項目	事業名	事業内容・実施主体			実施時期			備考
		地域（住民）	協働	行政	短期	中期	長期	
福祉	高齢者の支援	いきいきサロンの設置推進			○	○	○	
		独居老人の安否確認 (地域自治会が担当)			○	○	○	
	民生委員・児童委員 主任児童委員との協働	住民自治協議会としての 地域における諸問題への取組み	市		○	○	○	
	地域福祉の推進	高齢者や障がい者の住みよい街づくり			○	○	○	
		子供の見守り			○	○	○	
		福祉関係施設との協賛活動			○	○	○	
		小学校との交流と支援			○	○	○	
		世代間交流事業の開催			○	○	○	
		先進地の視察			○	○	○	
	地域ケアネットワーク の設置促進	久米ケアネットワーク会議の設置	市		○	○	○	
健康	健康講座の開催	医療機関等の講座等の取り入れ		後援	○	○	○	
	健康体操の導入	各種健康体操を取り入れる		後援	○	○	○	
	健康の駅長との連携	健康の駅長活動の支援			○	○	○	
	健康の促進	健康ウォーキングの開催			○	○	○	

※ 市の事業への参画協力